



きこえにくい子を指導する方
に知って欲しいこと

基礎コース

長崎県立ろう学校
自立活動部 地域支援班
2021.9 vol.12

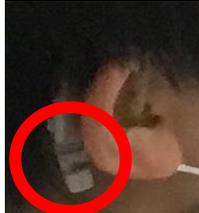


補聴援助システムの便利な使い方

地域の学校や家庭で「補聴援助システム」を使用されている方は多いと思います。その中でよく使われているフォナック社の「ロジャー」について、便利な使い方を説明します。

＜補聴援助システムとは＞

話しての声は、聞き手との距離が離れるほど小さくなり、雑音の影響もあって、話しの内容を聞き取ることが難しくなります。補聴援助システムは、送信機で集めた音をデジタル信号化してワイヤレスで受信機へ送り、補聴器や人工内耳に音を届けるしくみです。離れた場所でもはっきりと声を聞くことができ、雑音の影響を抑えることができます。

送信機: 話し手(先生)が装着	受信機: 聞き手(子ども)が装着		
タッチスクリーンマイク	マイリンク	一体型	オーディオシュー型
 <p>ネックストラップ</p>			
画面に直接触れて操作できる	首にかけて使用する	フォナック社の補聴器の専用受信機	ボックス型の受信機を補聴器の下に接続

送信機は、画面に直接触れて操作できる「タッチスクリーンマイク」がよく使われています。受信機には、首からかけて使用する「マイリンク」、補聴器や人工内耳の一部が受信機になっている「一体型」、補聴器や人工内耳に直接受信機をつける「オーディオシュータイプ」があります。

「マイリンク」はさまざまな補聴器や人工内耳、一部の耳穴型補聴器にも対応できますが、首からかけて使用するので邪魔になりやすいです。

「オーディオシュータイプ」や「一体型」は邪魔になりにくく動きやすいですが、補聴器や人工内耳の電池を電源とするので、電池の消耗が早く、ハイパワータイプの電池を使用する必要があります。「オーディオシュータイプ」は補聴器や人工内耳の下部に装着するので「一体型」より若干サイズが長くなります。接続部分が汗などに弱く注意が必要です。

補聴器や人工内耳を病院や補聴器店などで、送信機から送られる音と補聴器のマイクから入る音の両方を聞くことができる「MT」モードに切り替えられるよう設定しておいてもらおうと良いでしょう。「MT」モードにしておく、聞き手（子ども）は受信機の電源を入れるだけです。「一体型」や「オーディオシュータイプ」は、モードを切り替えたり、スイッチを入れたりすることなく使用できます。



話し手（先生）は、送信機の電源を入れ、受信機に近づけた状態で、「機器の接続」にタッチして（図中の○）、リンクされていることを確認してから使うようにします。

1 指向性マイクを使う

(1) 首に吊り下げて使う 「マイクモード」

担当の先生が主に話をするような授業では、先生がネックストラップをつけた送信機を、口元から15cm程度になるよう調節して装着します。首から吊り下げること、音声は上部からの音声（先生の声）を拾うようになります。

(2) 話す人に向けて使う 「インタビューモード」

授業中など、他の生徒が発言する場で活用できます。先生がつけている送信機をネックストラップからはずし、話し手（発表する生徒）に向けて音声を拾うようにして使用します。話し手が複数いる場合、送信機を向けることではっきりと話し手の声を届けることができ、効果的です。ネックストラップは裏面の接続部分のボタンを押すだけで、簡単に取り外すことができます。

(3) テレビの前に置いて、音を拾う

家族と一緒にテレビを見るとき、ボリュームを大きくしすぎたり、家族に解説を求めたりすることがあります。送信機をスピーカーの近くに置くだけで、必要以上にボリュームを大きくしなくても、家族と一緒にテレビを楽しむことができます。

2 集音方向自動調整マイクを使う

(1) 複数名での話し合い活動でテーブルの中央に置く 「小グループモード」

話し手が複数いる場合に活用できます。一つのテーブルを囲んで話し合うときはそのテーブルの中央に送信機を置くだけで、他の操作は不要です。送信機が大きい声に反応し、発言者の声を拾います。ただし、話し手は順番に話し、一斉に話さないようにしましょう。



3 音響機器とコードでつないで使う

音響機器からの音をよりはっきりと聞かせたいときには、アウトプット（OUT PUT）ジャックで送信機をつなぎます。イヤフォンジャックにもつなぐことができます。ただし、他者と一緒に音を聞く場合は、別売りの二股ジャックを使って、スピーカーと送信機をつないでください。

(1) CD プレイヤーなど音響機器とつないで使う

英語のリスニングや音楽の鑑賞などの時間に活用できます。周囲の雑音もカットされ、音響機器からの音に集中して聞くことができます。

二股ジャックがないときは、周囲の音も入りますが、スピーカーの前に置くだけでも、ずいぶん聞き取りやすくなります。

(2) 全体集会などで、マイクなどの音響機器とつないで使う

体育館などでの全校集会などで活用できます。会場のスピーカーからの音はゆがんで聞き取りにくいものですが、送信機とアンプを直接につなぐことで、クリアに聞くことができます。

ここで紹介したものは、学校や家庭で使用するときの便利な使い方の一例です。補聴援助システムは、上手に使うととても効果的です。子どもの聞こえの状態によって適切に活用してください。